

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	上下水道料金徴収事業			
担当部・課名	料金課	評価者 (課長)	玉野一彦	評価責任者 (部長)	久村 信幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	600501	分野	6都市基盤	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)経営の安定化			会計名	11水道事業会計

事業の目的 (対象)	ご利用のお客様	事業の目的 (意図)	上水道、下水道の使用に対する公平な受益負担をいただくため、当該料金の回収に努め、もって低廉な料金と公営企業財政の健全な運営をめざす。
事業の内容 (手段)	統合した熊毛鹿野地区の事業手順の標準化を実施のうえ、 ①未収金の圧縮 未収金の早期回収に努め、不良債権化することを防止と適切な債権管理を実施します。 ②お客様へのサービスの向上 給水管漏水の可能性がある場合による一次調査やご相談へのきめ細やかな対応により、お客様の満足度の向上を図ります。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
				目標値	99.3	99.3	99.4
				実績値	99.3	99.5	
				達成度(%)	100.0%	100.3%	

事業 費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(見込)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	103,680	124,089	128,704	153,356	127,784
	(予算額) うち一財	千円	0	0	0	0	0
	直接事業費	千円	103,680	124,089		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	0	0		熊毛鹿野地区料金システム統合費用による(臨時的費用)	同左費用の皆減
	正職員人件費	千円	44,430	43,962	7.00		
	人工数	人	6.00	6.00			
	支出コスト	千円	決) 148,110	決見) 168,051			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	人口減少、水使用原単位の縮小により、経営環境が厳しくなっており、自治法や企業法の改正で可能になった民間委託やアセットマネジメント手法の導入を実施。収入においても、第2次行革大綱実施を機に、数値目標を設定するとともに、業務改善を図ってきた。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 アウトソーシングによる経費削減は、経済的効率的な事業運営が図られる一方で、災害時等の危機管理ができるかが課題となる。上下水道事業は重要なライフラインであり、事業に精通した人員の減少はBCPに支障を及ぼす可能性がある。
	評価	A	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	収入率は高水準を維持しており、破産倒産等の債権回収困難事案が主であるため、新規未回収債権の発生防止とともに、回収困難債権の保全や管理が主となる。	評価責任者コメント	統合後の熊毛水道事業や鹿野簡易水道事業の料金を徴収することとなる。口座振替などの適切な対応等に努め、新規未回収債権の発生防止や収納率向上を図る必要がある。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など) 熊毛鹿野地区簡易水道料金統一遅延や事業統合準備作業が未了のまま事務事業が引き継がれたことで、当初の作業工程計画全体に遅延が生じている。このような中で、段階的料金改定や料金徴収制度の変更(上水道地区への統一標準化)に対するご利用のお客様のご理解を得つつ債権の回収と適切な管理を推進していく。徳山新南陽地区は従前どおりの管理方針を継続する。	備考
---	----

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	上下水道料金徴収事業	債権の早期回収による不良化の防止	債権不良化前の早期回収の推進	128,704 可		7.00	
②							
③							
④							
⑤							